月　日 名前

／100点

# 【小6】国語 文章問題　説明文 4

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

学級会で何かを決めるとき、わたしたちはよく多数決を使います。手を挙げてもらい、数の多いほうに決める。時間もかからず、だれにでも分かりやすい方法です。けれども、多数決をすれば、いつでもみんなが納得できるのでしょうか。

たとえば、クラスのお楽しみ会で、ドッジボールをするか、劇をするかを決めるとします。多数決の結果、ドッジボールに決まったとしましょう。このとき、劇をやりたかった人の気持ちは、どこへ行ってしまうのでしょうか。数で負けたというだけで、その人たちの考えは、なかったことにされてしまいます。

もし、多数決の前に、よく話し合っていたらどうでしょう。劇をやりたい人は、「運動が苦手な人も、楽しめるから」と理由を話すかもしれません。それを聞いて、ドッジボールの前に短い劇をしようという、新しい案が出てくるかもしれないのです。話し合いは、どちらかを選ぶだけでなく、両方の思いを生かした第三の道を見つけるための時間でもあります。

また、たとえ最後に多数決をしたとしても、話し合いをしたかどうかで、結果の受け止め方は大きく変わります。自分の意見を聞いてもらえたと感じた人は、決まったことに協力しやすくなります。

多数決は、話し合いを終わらせるための便利な道具です。しかし、それは話し合いの代わりにはなりません。一人一人の考えにしっかり耳をかたむけてこそ、多数決は、みんなの決定として生きてくるのです。

（この問題のための書き下ろし）

問一　筆者は、多数決のよいところをどう言っていますか。「～方法です」につづくように、本文から二十字までで書きぬきましょう。

問二　「その人たちの考えは、なかったことにされてしまいます」とありますが、どういうことですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　劇をやりたかった人が、お楽しみ会に出られなくなること。

イ　数で負けた人の考えが、理由も聞かれないまま、決定に生かされないということ。

ウ　負けた人たちが、自分の考えをわすれてしまうということ。

問三　筆者は、話し合いは何を見つけるための時間でもあると言っていますか。本文から二十字までで書きぬきましょう。

問四　最後に多数決をするとしても、その前に話し合いをしておくとよいのはなぜですか。「意見」「協力」という言葉を使って、四十五字までで書きましょう。